



個人投資家様向け 勉強会資料

株式会社トリプルアイズ
(証券コード：5026)
2026年4月18日

- 01 | 会社概要
- 02 | AI開発事例
- 03 | 成長戦略
- 04 | 2026年8月期第2四半期業績(IFRS)

テクノロジーに 想像力を載せる

創業者の故福原智は誓いました。
「ことばにできればすべてシステムにできる」と。

わたしたちは改めてこの誓いを胸に、
希望、夢、挑戦、幸福という想像力を
AIをはじめとした先端テクノロジーに載せて
未来に運びます。

DNAが遺伝子の乗り物であるように、
テクノロジーはわたしたちの想像力の乗り物なのです。



会社名 株式会社トリプルアイズ（英名：TRIPLEIZE CO., LTD.）

**代表取締役
CEO** 片淵 博哉

設立 2008年9月

所在地 東京都港区芝浦3丁目4-1 グランパークタワー 32F

役職員数 連結：465名、単体：251名

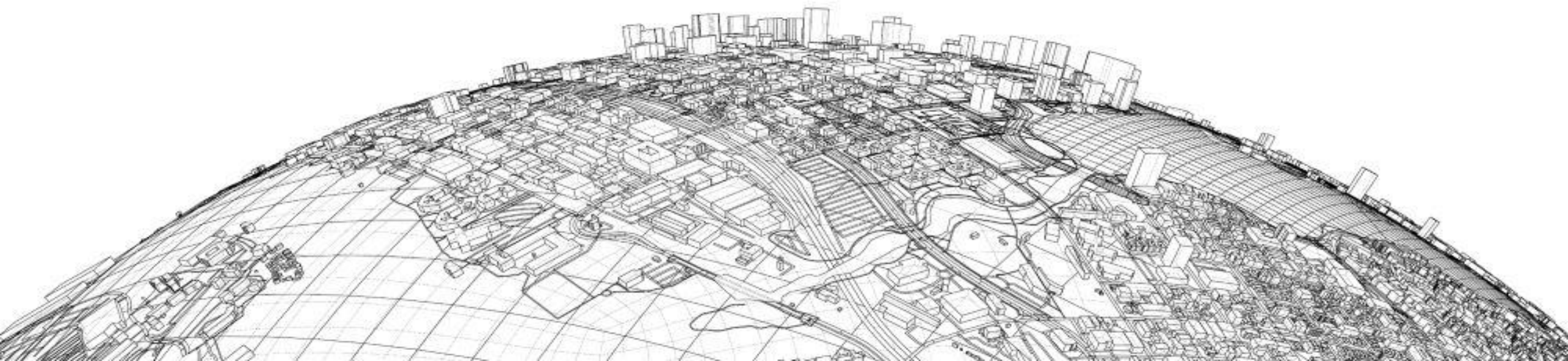
市場区分 東証グロース市場（証券コード：5026）

事業内容 システムインテグレーションおよびAIプラットフォームの提供

関係会社 株式会社所司一門将棋センター、株式会社シンプルプラン、株式会社ゼロフィールド、株式会社BEX

特許 情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム（出願番号：特願2020-067799）
複数拠点における時間的整合性を根拠とする本人認証AIシステム

資格 ISO 9001 JQA-QMA15648（品質）、ISO/IEC 27001 JQA-IM1456（情報セキュリティ）
ISO/IEC 27017 JQA-IC0003（クラウドサービスセキュリティ）





※ 2025年8月期の実績値をもとに算出

創業

 Realize Customize Maximize
TRIPLEIZE
18期目

(2008年9月3日設立)

上場区分

東証グロース(5026)

事業/強み

- ・ AIプラットフォーム
- ・ 開発/設計
- ・ GPUサーバー

業績

2024年8月期(実績)

2025年8月期(実績)

2026年8月期(計画)

 売上高 **44.1**億円 ▶ **57.1**億円 ▶ **58.3**億円

 営業利益 **0.3**億円 ▶ △**0.6**億円 ▶ **0.8**億円

組織

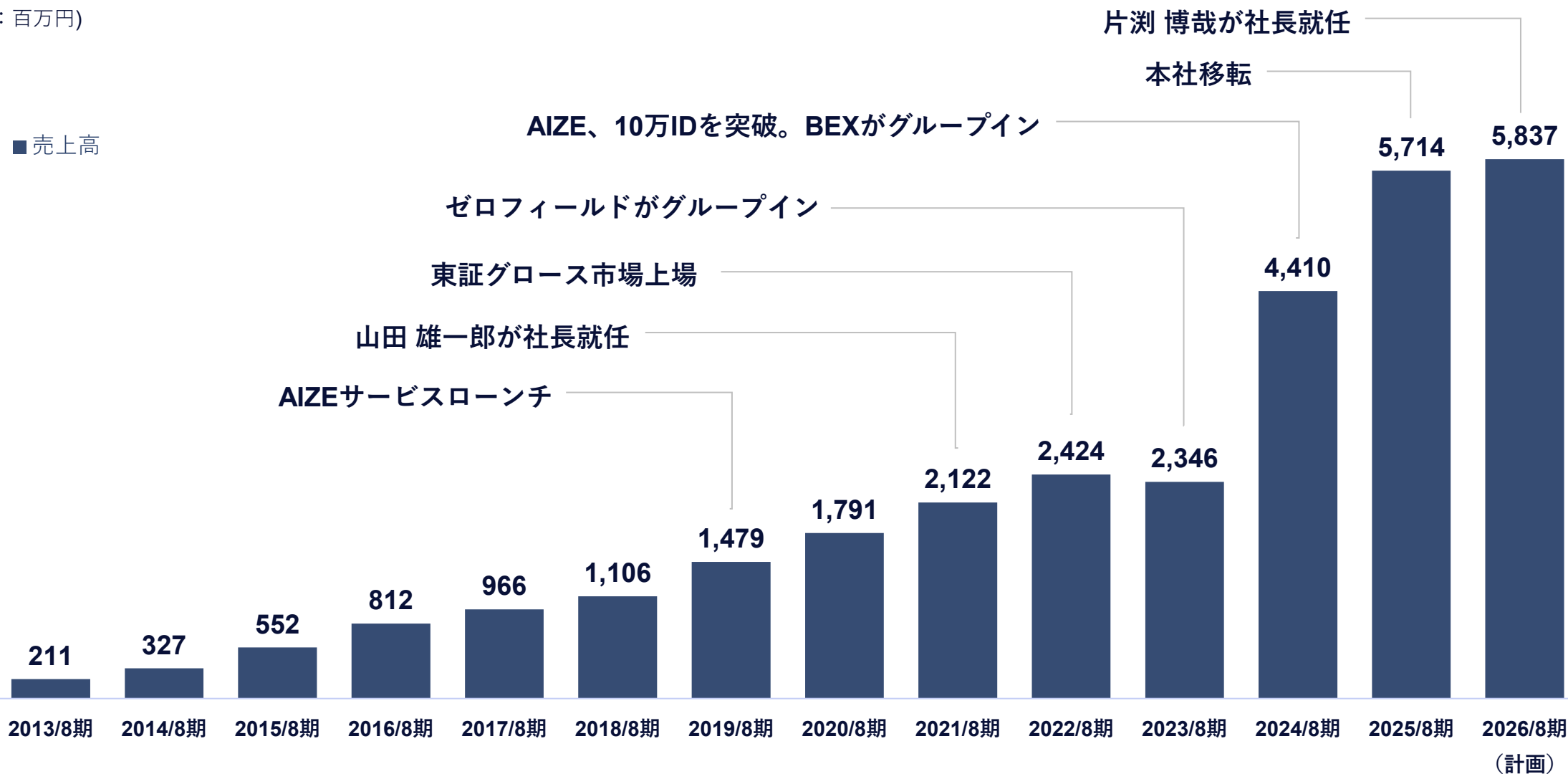
グループ会社

全 **5** 社

従業員

**465**人

(単位：百万円)





代表取締役CEO

片渕 博哉

トリプルアイズ取締役

2016年、トリプルアイズ入社。画像認識・機械学習の専門家として、画像認識プラットフォーム「AIZE」や音楽レコメンドサービスなど、幅広いAIソリューションを開発。囲碁AI研究開発においては、プロジェクトマネージャとして強化学習を活用した高度なアルゴリズムの開発をリードし、競技AIにおける技術応用を実現。AI教育プログラム「AT20」の責任者として、カリキュラム設計・教材開発を主導。企業向け講演活動を通じ、AI技術の普及と人材育成に貢献。



代表取締役会長

山田 雄一郎

トリプルアイズ取締役

早稲田大学商学部卒業。2005年12月EY新日本監査法人入社。2011年3月監査国際部より異動し、成長戦略室等にて官民連携の経営改革・経営統合に係るコンサルティングを9年間実施（うち2012年から2017年は新日本パブリックアフェアーズ株式会社に出向）、多数のプロジェクトマネージャーを歴任。2020年11月、株式会社トリプルアイズ取締役就任。2021年3月、同社代表取締役就任。



取締役 CFO

加藤 慶

トリプルアイズ取締役

明治大学法学部卒業。ベンチャー・リンクを経て、EY新日本有限責任監査法人のIPO専門部隊に所属、在籍時に三井不動産株式会社ベンチャー共創事業部に出向しCVCファンド組成に携わる。2018年以降、上場準備会社におけるCFO、取締役を歴任。2019年、株式会社すららネット取締役(監査等委員)就任(現任)。2020年、株式会社ライナフ監査役就任(現任)。2021年9月、株式会社トリプルアイズ取締役就任。2023年10月当社グループ会社株式会社ゼロフィールド取締役就任(現任)。2024年7月当社グループ会社株式会社BEX取締役就任(現任)。



社外取締役

篠田 庸介

トリプルアイズ社外取締役

株式会社ヘッドウォータース代表取締役。1989年にベンチャー企業の立上げに参画。以降、起業家としての道を進み、1999年にE-Learning事業を柱とするIT企業を設立。2005年に株式会社ヘッドウォータースを設立し、代表取締役社長に就任。エンジニアを中心に据えたユニークな組織運営や、黎明期のAI・ロボティクス領域への進出などで注目を浴びる。AIの社会実装、Society5.0実現を目指し、ヘッドウォータースグループを牽引する。



ゼロフィールド代表取締役CEO

平嶋 遙介

ゼロフィールド取締役

上智大学理工学部情報理工科、上智大学院理工学研究科卒業後、NTTデータに入社し銀行向け勘定系共同センターへの機能追加・開発などを担当。2017年に株式会社ゼロフィールドを創業し、暗号資産関係のビジネスを展開。金融系システムやブロックチェーン関連の深い知識と豊富な経験を有しており、CTOとして開発チームを牽引しながらも、経営者として成長の道を歩む。2023年8月より代表取締役CEOに就任。



技術顧問

松原 仁

技術顧問

京都橋大学工学部情報工学科教授。はこだて未来大学特任教授。京都橋ロボカップ日本委員会会長、観光情報学会長、人工知能学会長などを歴任。1959年、東京生まれ。86年、東京大学大学院情報工学博士課程修了。同年、通産省工業技術院電子技術総合研究所（電総研、現在の産業技術総合研究所）入所。元、東京大学次世代知能科学研究センター（AIセンター）教授。

深層学習（ディープラーニング）発明 *** 2006

2008

ISLVRCで深層学習手法を駆使するトロント大圧勝 *** 2012

Google社、機械学習による猫の画像認識に成功 2014

DeepMind社の囲碁AI「alphaGo」、プロ棋士に勝利 *** 2016

人知を超える神の一手が打たれた！



出典

<https://www.asahi.com/articles/ASK4B5SJ4K4BUCLV00Y.html>

OpenAI社のGPT-3.5発表 *** 2022

Evolution of AI

ジェフリー・ヒントン氏、ノーベル物理学賞受賞
 デミス・ハサビス氏、ノーベル化学賞受賞 ***

2017

2019

2020

2021

2023

2024

*** 9月 東京都千代田区に株式会社トリプルアイズを設立

*** 8月 社内に囲碁AIプロジェクトチーム発足

*** 4月 国内初、「ブロックチェーン推進協会」設立を支援

*** 7月 AI(DeepLearning)基盤となる「Deepize」をリリース

8月 測量作業向けドローン制御アプリをApp Storeにてリリース

*** 9月 産業用モーターとITを融合したIoTサービスを開始

*** 3月 AIによる画像認識プラットフォーム「AIZE」(アイズ)を発表

「AI 囲碁世界一奪取宣言」を発表

将棋採用（商標登録）スタート

4月 囲碁 AI 世界大会「博思杯2019」にて4位を獲得

7月 囲碁 AI 大会「2019年CGFオープン」にて1位、2位独占

12月 「第11回 UEC 杯コンピュータ囲碁大会」にてGLOBIS-AQZが準優勝

*** 3月 AIZEによる顔認証決済サービス「ヤマダ Pay」がスタート

*** 3月 創業者・福原智 急逝 山田雄一郎社長就任

*** 5月 東京証券取引所グロース市場上場

*** 9月 株式会社ゼロフィールドがグループイン

*** 4月 画像認識プラットフォーム・AIZE、10万IDを突破

7月 株式会社BEXがグループイン

11月 本社移転

Company History



片渕 博哉
Katabuchi Hiroya

< 略歴 >

- 2016年 トリプルアイズ 入社
- 2017年 AI音楽配信レコメンドサービス開発
大手コンビニ需要予測AI PJ参画
- 2018年 モータクラウドシステム「Relimo」立ち上げ
東洋大学との共同研究開発リーダー就任
- 2019年 囲碁AI 研究開発マネージャー就任
- 2020年 AIZE開発部課長就任
顔認証サービス「AIZE」立ち上げ
- 2023年 DXS開発部 執行役員就任
AI Labサービス立ち上げ
- 2025年 代表取締役CEO就任

Case study of our services AIZE

日本全国に広がる国産AI「AIZE」

- AIZE顔認証決済
- AIZE Research, AIZE R
- AIZE Biz, AIZE Biz+

約300社
約3500拠点
顔ID数は15万over

- 地方空港
- 日本最大シェアサロン
- 東証一部上場運送業
- 店舗型メガネストア
- 食品テーマパーク
- No.1家電量販店
- 大手スーパーマーケット



アジア進出
現在進行中!

世界のDXは
日本産AI「AIZE」から

医薬品卸クラウド型 販売管理システム「PRISM」を活用して、後発医薬品の安定供給をDXで推進！

次の薬価改定対応を最短・自動化でグッと楽に!!

医薬品卸特化型のクラウド型販売管理システム プリズム



PRISM

例えば
出荷数制限の対象商品を
どの薬局にいくつ納めよう...

例えば
毎日毎日の入力作業、
自動化できれば
楽なのに...

こんな事でお困りでは
ありませんか？

例えば
商品マスタが増えて
管理が大変!!

例えば
薬価改定のたびに
夜遅くまで
Excelとにらめっこ...

そのお悩みを **PRISM** が解決します [詳しくは裏面へ](#)

01/発注(JDNet連携)の自動化

02/伝票・リスト印刷の自動化

03/受注(MEDICODE/SDC/SDN連携)の自動化

04/請求書の一括送信

販売入力画面



経営ダッシュボード画面



2018年から国内外で合計6拠点のデータセンターを展開するゼロフィールドは、2024年にコンテナ型データセンター『DINO Rex』を開発。顧客ニーズに合わせてカスタマイズできるDINO Rexは、暗号資産マイニングだけでなく生成AI向けエッジデータセンターとしても活用可能。短期間で設置できるため、安価な電力の新たな活用方法として販売を広げている

コンテナ型データセンターによる 余剰電力活用の提案

コンテナ型データセンターとは、エッジでのサーバー稼働に最適化された設備を備えた可搬型の省スペース施設



コンテナ型・モジュール型 データセンターの独自開発



◀コンテナ型データセンター
【ニーズに合わせてフレキシブルに
カスタマイズ可能】



▲モジュール型データセンター
【福井大学との共同開発の排気システム搭載】



自治体



小売・流通



総合商社



金融



鉄道



物流



電気機器



食品卸



医療・医薬品



情報通信

LINE WORKS

Sony Biz Networks Corporation



建設ICT



建設・機械



電気機器



 AIプロフェッショナル DXエンジニア	 自動車設計エンジニア	 GPUエンジニア
<p>人員数 193名</p> <p>最先端AIの研究開発+ 顧客のDX支援を強力にサポート</p> <p>UEC杯囲碁AI大会1位の研究開発ネットワーク を活用し、優秀な人材の採用・育成にも 力を入れる</p>	<p>人員数 160名</p> <p>大手自動車メーカーの設計開発で 40年超の実績</p> <p>関与特許実績140件超。ハードウェア・ソフト ウェアの両軸で技術を高める 自動車設計のプロフェッショナル集団</p>	<p>人員数 9名</p> <p>高性能PCの導入～運用を トータル支援</p> <p>高性能PCの設置から保守・運用まで 一貫して対応できる、ハードウェアエンジニア とソフトウェアエンジニアを揃える</p>
<p>世界大会 第1位</p>	<p>大手自動車 メーカーとの 取引実績 40年超</p>	<p>販売累計台数・ 全国シェア 3年連続 全国1位</p>
<p>G検定合格者 ※1 総勢25名</p>	<p>関与特許実績 140件超</p>	<p>購入顧客数・ 全国シェア 3年連続 全国1位</p>
<p>中最上級 エンジニア 155名</p>	<p>空調 トヨタ車体内 シート 豊田紡織内 シェア1位</p>	<p>自社データセンター 稼働顧客数・ 全国シェア 3年連続 全国1位</p>

※1：一般社団法人日本ディープラーニング協会が主催する検定。事業に活用できるAIの知識を検定試験する

* 東京商工リサーチ調べ。人員数情報は2025年4月時点

囲碁AIの研究開発で培った先端技術を核とした“挑戦するDNA”を有し、AIの未来を切り拓く技術力が強み。

囲碁AIがもたらしたイノベーションを原点に、AI開発の王道で磨いた高度な知見を基盤として、新たな価値創出と市場への貢献を加速させる

AIの未来を創ってきた、私たちのDNA

2025年ノーベル化学賞



出展：<https://www.asahi.com/articles/DA3S16091485.html>

囲碁AI世界大会成績推移

開催時期	順位
2019年4月	4位
2019年12月	2位※1
2022年3月	6位※2
2023年11月	1位※3
2024年7月	1位※3

技術力の差が
勝敗に現れる

囲碁の指し手選択数

10^{360}

将棋の局面変化

10^{220}

全宇宙の粒子数

10^{80}

地球の海岸の砂粒数

10^{23}

日本総人口

10^8

※1：共同開発プロジェクト「GLOBIS-AQZ」での成績

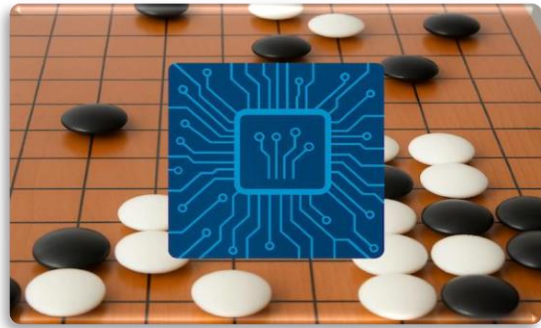
※2：2020～2021年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大会参加を見送っておりました。

※3：当社エンジニアの個人参加による成績です。

トリプルアイズの技術系譜

囲碁、顔認証、生成AIと、一見バラバラに見えるわたしたちの技術は、一本の線で繋がっています。そして次に来る**フィジカルAI時代**に必要な技術こそ、私たちが極めてきた領域そのものです。

囲碁AI (Origin)



画像認識

探索最適化



局勢判断における画像認識と宇宙の元素より多いの選択肢から「最適解」を導く探索エンジン。

強化学習の基礎。

顔認証 (AIZE)



画像認識

ベクトル検索



画像認識による個人の顔の特徴量を深く読み込む技術と登録されているDBからいかに速く正確にベクトル検索するかが求められる。また個人情報レベルMAXのデータを扱った特化型自社AIモデル開発。

生成AI (RAG)



LLM

ベクトル検索



文章をベクトル化し、最も近い意味合いの回答・文章を検索する。システム全体の精度向上施策、スピード改善など顔認証で培った技術をフル活用。

フィジカルAI (Future)



画像認識

LLM

探索最適化



生成AIはあくまでソフトウェアの領域での活用まで。今後は人間の物理空間まで拡張したフィジカルAIにシフトしていく。

目(画像認識)×脳(LLM)×行動(探索) 現実空間での最適行動選択において囲碁AIの技術知見が活きる。

AIエージェント×フィジカルAI

当社は「探索」「認識」「生成」の中核AI技術を活用し、人とAIが協働する「AIエージェント×フィジカルAI」の領域でのグループ全体の事業展開を強化します。

AIとヒトとの協働設計

プロ棋士×AIの共同研究で検討した「協働の作業法」を、現場プロセスに適用できる先行知見があります。

グループカ

GPUサーバと計算力のゼロフィールド、自動車設計エンジニアリングのBEXのグループで、学習基盤→ドメイン特化AI開発→実装までワンストップで推進可能です。

「AIエージェント×フィジカルAI」



屋外セキュリティ人物検知
(太陽光パネルの盗難等)目的
で、複数センサーから取得
した大量データを踏まえた意
思決定AI



人型ロボットの画像認識AIの
組み込みによる、ロボット
とヒトの共生



テレビ東京 ワールドビジネスサテライト
 「脱マスク時代のビジネスチャンス」
 2023年4月17日(月) 22:00 ~ 22:58 O.A.

脱マスク時代のビジネスチャンスというテーマで、当社のエンジニアが顔認証システムを紹介いただきました。AIZEの感情分析AIエンジンを用いて、顔認証が持つ多様な可能性が感じられる内容になりました。



BS-TBS 報道1930

「影武者説をAIが検証」

2023年5月22日(月) 19:30 ~ 20:54 O.A.

TBS サンデー ジャポン

「ウクライナ情勢ニュースで顔認証AIが画像解析」

2023年5月22日(月) 19:30 ~ 20:54 O.A.

TBS ひるおび

「世の中の関心事コーナーで顔認証AIが画像解析」

2023年6月20日(火) 10:25 ~ 13:55 O.A.

プーチン氏に複数の影武者が存在するとの証言を元にAIによる画像解析をするという企画があり、顔認証AIの開発・実装に定評のある当社に声がかかりました。



ダイヤモンド社「ダイヤモンド・セレクト6月号 不動産DX最前線」

「不動産に限らず社会全体のDXを推進する技術がAIだ。最新のテクノロジーはDXが最も遅れている業界でどのように取り入れられようとしているのか？ 独自のAIエンジンを開発し、画像分析や需要予測の実装に定評のある株式会社トリプルアイズのAI開発部門のリーダー・片瀬博哉氏に聞いた。」(本文より)

Copyright © TRIPLEIZE Co., Ltd. All right Reserved



日本経済新聞社

日経 2023年版

業界地図

177 業界
4400 企業・団体

2023年版

電子書籍もダウンロード可

日本経済新聞出版

東証の新市場区分に対応!

「デフレからインフレへ」そこにあるビジネスチャンス

メタバース、eスポーツ、ベンチャーキャピタル、マーケティングリサーチ...etc

DXの進展で市場の成長が続く

日本経済新聞社

ファイチャー (4052) G 専攻AI画像認識や機械学習、ジェスチャー認識などに強み。20年6月にIPO	ニューラルグループ (4058) G サイバー広告、人身・動画解析、ファッション動向分析などに強み	PKSHA Technology (3993) G 深層学習や自然言語処理、画像認識のアルゴリズム開発に強み	プリファード・ネットワークス (PFN) 交通、製造、バイオへのAI応用に強み。深層学習のスパコン開発も。トヨタ自動車やNTTなど多くの大企業と提携。ユニコム企業(企業価値10倍)以上の売上企業)として知られる
モルフォ (3953) G 画像認識や顔認証に強み。スマホの手入れ修正などに強み	トリプルアイズ (5028) G 画像認識や顔認証に強み。22年5月にIPO	ヘッドウォータース (4011) G 画像認識、自然言語処理、ロボットの動作などに強み	ABEJA 小売へのAI応用に強み。深層学習のプラットフォームを開発。21年4月にSOMPOの関連会社として設立
ユーザーローカル (3984) P チャットボットやSNSのロコ分析に強み	Appier Group (4180) G Webサイト利用者の行動分析に強み。21年3月にIPO	HEROZ (4382) P 将棋ゲーム向けに開発したAIをBtoB向けサービスとして提供	エクサウィザーズ (4259) G 英大企業ベンチャー、コンタクトセンターや人材育成に強み。21年12月にIPO
シノバス (4428) G AIで需要予測する自動発注システムに強み	シルバークラウド (3961) G Webサイト利用者の行動分析に強み	エクサウィザーズ (4259) G 英大企業ベンチャー、コンタクトセンターや人材育成に強み。21年12月にIPO	JDSC (4418) G 東大発ベンチャー。物流最適化や需要予測に強み。21年12月にIPO
AI inside (4488) G AI-OCRに強み	メタリアル (6182) G (図ロセツカ) 機械翻訳に強み	データ解析 ブレインパッド (3658) P ビッグデータ分析やAIの実用。AIを業種分析にも活用	ALBERT (3909) G ビッグデータ分析やAIアルゴリズム開発に強み。データ人材育成事業も
Kudan (4425) G 立体地図の開発技術に強み	エアアイ (4388) G 音声認識に強み		

6 AIベンチャー

日本経済新聞社

日経 2024年版

業界地図

185 業界
4600 企業・団体

日経記者が総力取材!

生成AIの登場で新たな段階に

日本経済新聞社

ファイチャー (4052) G 専攻AI画像認識や機械学習、ジェスチャー認識などに強み	ニューラルグループ (4058) G サイバー広告、人身・動画解析、ファッション動向分析などに強み	PKSHA Technology (3993) G 深層学習や自然言語処理、画像認識のアルゴリズム開発に強み	プリファード・ネットワークス (PFN) 交通、製造、バイオへのAI応用に強み。深層学習のスパコン開発も。トヨタ自動車やNTTなど多くの大企業と提携。ユニコム企業(企業価値10倍)以上の売上企業)として知られる
モルフォ (3953) G 画像認識や顔認証に強み。スマホの手入れ修正などに強み	トリプルアイズ (5028) G 画像認識や顔認証に強み。22年5月にIPO	ヘッドウォータース (4011) G 画像認識、自然言語処理、ロボットの動作などに強み	ABEJA (5574) A 小売へのAI応用に強み。深層学習のプラットフォームを開発。21年4月にSOMPOの関連会社として設立
ユーザーローカル (3984) P チャットボットやSNSのロコ分析に強み	Appier Group (4180) G Webサイト利用者の行動分析に強み。21年3月にIPO	HEROZ (4382) P 将棋ゲーム向けに開発したAIをBtoB向けサービスとして提供	エクサウィザーズ (4259) G 英大企業ベンチャー、コンタクトセンターや人材育成に強み。21年12月にIPO
シノバス (4428) G AIで需要予測する自動発注システムに強み	シルバークラウド (3961) G Webサイト利用者の行動分析に強み	エクサウィザーズ (4259) G 英大企業ベンチャー、コンタクトセンターや人材育成に強み。21年12月にIPO	JDSC (4418) G 東大発ベンチャー。物流最適化や需要予測に強み。21年12月にIPO
AI inside (4488) G AI-OCRに強み	メタリアル (6182) G (図ロセツカ) 機械翻訳に強み	データ解析 ブレインパッド (3658) P ビッグデータ分析やAIの実用。AIを業種分析にも活用	ALBERT (3909) G ビッグデータ分析やAIアルゴリズム開発に強み。データ人材育成事業も
Kudan (4425) G 立体地図の開発技術に強み	エアアイ (4388) G 音声認識に強み		

9 AIベンチャー

日本経済新聞社

日経 2025年版

業界地図

194 業界
4800 企業・団体

電子書籍もダウンロード可

日本経済新聞出版

「有数の強み」「関係性」「事業規模」が独自レイアウトでよくわかる!

就活、投資、プレゼンに!

20周年

有望な100の技術期待度番付

世界No.1企業はここだ! 世界シェア71品目

新編業界 [次世代モビリティ] [位置情報ビジネス] [M&A支援] ほか

日本経済新聞出版

市場の成長でAIベンチャーの上場が続く

日本経済新聞社

データ解析・マーケティング支援 TDSE (7046) G AIによるビッグデータ解析やコンサルティングに強み。22年7月にIPO	unerry (5034) G 人工知能データのAI解析に強み。22年7月にIPO	Appier Group (4180) P AI活用の販促支援システムに強み	AIQ インスタグラムなどSNSやウェブサイトの分析に強み。接客AIも提供
特化型 AI inside (4488) G AI-OCRに強み。AI活用のコンサルティングも	Kudan (4425) G 立体地図の開発技術に強み	ウェルснаバ (7342) G ロボアドバイザーによる個人資産運用サービス	AI CROSS (4476) G AIチャットやSMS配信に強み
ファーストアカウント (5588) G 会計分野のAIエンジンの開発と提供。23年9月にIPO	AVILEN (5591) G 生成AI活用のコンサルティングや研修サービスを提供。23年9月にIPO	アラヤ 外観検査、画像解析、エッジAIコンサルティングなどに強み	ブレインズテクノロジー (4075) P 異業種間や企業内株主エンゲージメントに強み
Turing AIによる完全自動運転EVの開発を手掛ける。半導体チップの開発も	ストックマーク 自然言語処理に強み。AIによる情報提供サービスも		

8 AIベンチャー

AIベンチャー

2025年版

AI inside (4488) G AI-OCRに強み	メタリアル (6182) G (図ロセツカ) 機械翻訳に強み	データ解析 ブレインパッド (3658) P ビッグデータ分析やAIの実用。AIを業種分析にも活用	ALBERT (3909) G ビッグデータ分析やAIアルゴリズム開発に強み。データ人材育成事業も
ニューラルグループ (4058) G サイバー広告、人身・動画解析、ファッション動向分析などに強み	トリプルアイズ (5028) G 画像認識や顔認証に強み。22年5月にIPO	ヘッドウォータース (4011) G 画像認識、自然言語処理、ロボットの動作などに強み	ABEJA (5574) A 小売へのAI応用に強み。深層学習のプラットフォームを開発。21年4月にSOMPOの関連会社として設立
ユーザーローカル (3984) P チャットボットやSNSのロコ分析に強み	Appier Group (4180) G Webサイト利用者の行動分析に強み。21年3月にIPO	HEROZ (4382) P 将棋ゲーム向けに開発したAIをBtoB向けサービスとして提供	エクサウィザーズ (4259) G 英大企業ベンチャー、コンタクトセンターや人材育成に強み。21年12月にIPO
シノバス (4428) G AIで需要予測する自動発注システムに強み	シルバークラウド (3961) G Webサイト利用者の行動分析に強み	エクサウィザーズ (4259) G 英大企業ベンチャー、コンタクトセンターや人材育成に強み。21年12月にIPO	JDSC (4418) G 東大発ベンチャー。物流最適化や需要予測に強み。21年12月にIPO
AI inside (4488) G AI-OCRに強み	メタリアル (6182) G (図ロセツカ) 機械翻訳に強み	データ解析 ブレインパッド (3658) P ビッグデータ分析やAIの実用。AIを業種分析にも活用	ALBERT (3909) G ビッグデータ分析やAIアルゴリズム開発に強み。データ人材育成事業も
Kudan (4425) G 立体地図の開発技術に強み	エアアイ (4388) G 音声認識に強み		

ポイント

- 01 | 会社概要
- 02 | **AI開発事例**
- 03 | 成長戦略
- 04 | 2026年8月期第2四半期業績(IFRS)

特別地方公共団体

勤務時間の適切な把握方法と管理
業務の効率化を模索

画像認識プラットフォーム

AIZE顔認証サービスの提供に加え数多くのシステム
開発に実績を持ち、個人情報保護にも注力

世田谷区

顔認証システムを通じて勤怠管理の効率性向上

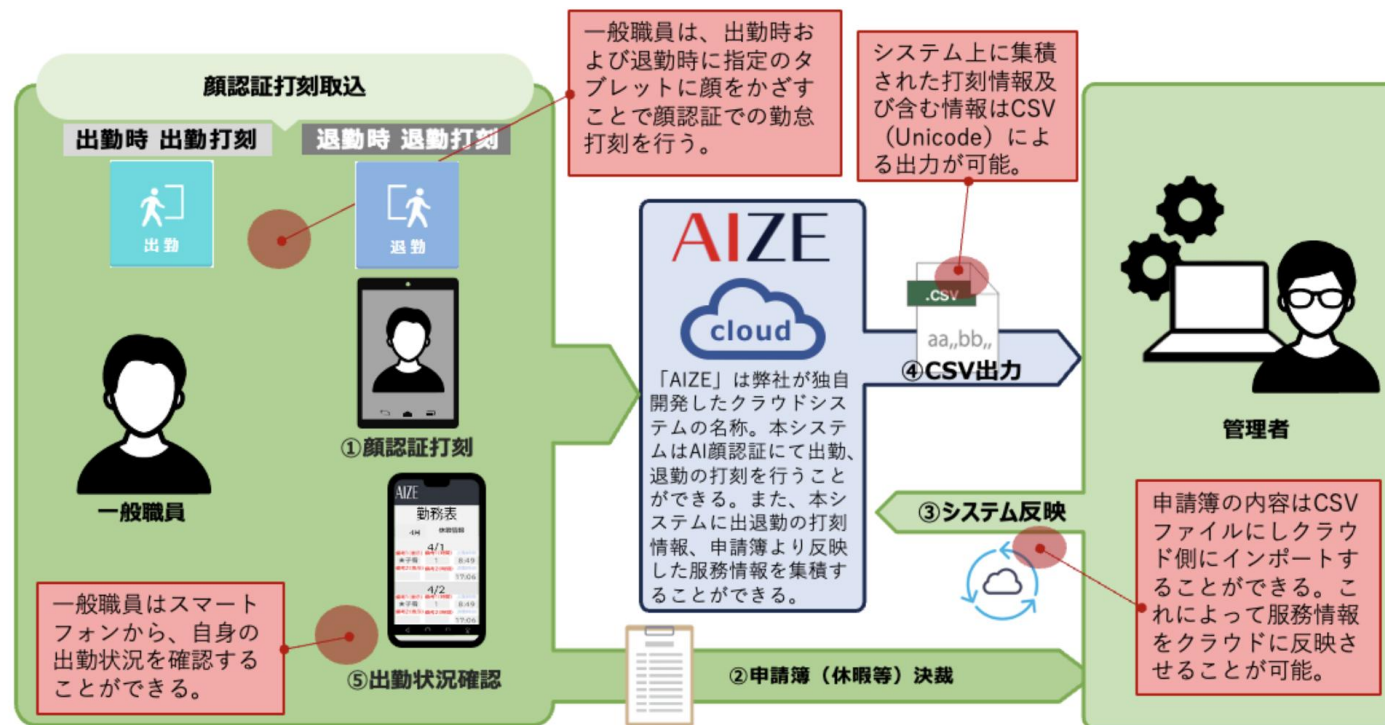
世田谷区の会計年度任用職員の出退勤管理

導入拠点：500カ所（本庁舎、保育園、学校、図書館）

対象職員数：約5000～5400人/年間

*延べ任用人数は約6400人を予定

- 顔認証端末にはタブレットを使用
- 長期安定運用とコスト効率を考慮
- クラウド上のAIZEと連携
- 有給休暇を含めた勤怠と休暇情報の可視化UIを構築
- より効率的な勤怠管理を実現



LINE WORKS

現場で活用できる充実したビジネスチャット

~~AIZE Breath~~

顔認証とアルコールチェックを一連の動作で行い、クラウドに記録

アルコールチェック義務化に伴う安全管理業務工数を大幅に軽減


 App
アルろく for LINE WORKS


運転者のスマートフォン画面イメージ


 アルコールチェック
 実施時やアルコール
 検知した場合に
 LINE WORKS へ通知


管理者のLINE WORKS画面イメージ

アルコールチェック義務化の安全管理業務工数を大幅軽減
 アルコール検知器の課題：リアルタイム酒気帯び確認
 LINE WORKSとの連携：確認業務を効率化・情報共有と管理効率の向上

- 安全管理業務を軽減
- なりすまし防止とデジタル化を促進
- 既存のアルコール検知器にも対応可能

LINE WORKS

トリプルアイズのAIの技術力と知見を活かして貴社のビジネスを強力に推進します。DXの最新情報サーベイ、AI論文サーベイ、案件実績が集約されたエンジニアチームを貴社のビジネス、サービスに活用できます。ビジネスに最適なテクノロジーを提案します。検証プランの策定や検証作業にお客様と共同で取り組みます。導入顧客も増大中で、ここから大型の請負案件につながっています。

企業課題&ニーズ



AIの基礎知識を高めたい

AIラボなら…

ジェネラリストからスペシャリストまで対応

課題解決方法を相談したい



AIラボなら…

要件定義から設計まで対応

開発リソースや環境が欲しい



AIラボなら…

環境構築から実証実験・実装まで対応

ビジネス推進チーム

ステークホルダー
DX推進
システム担当者 など



AIラボリーダー



課題に合う
最適なエンジニアリソース



顧客企業

トリプルアイズ AI Lab

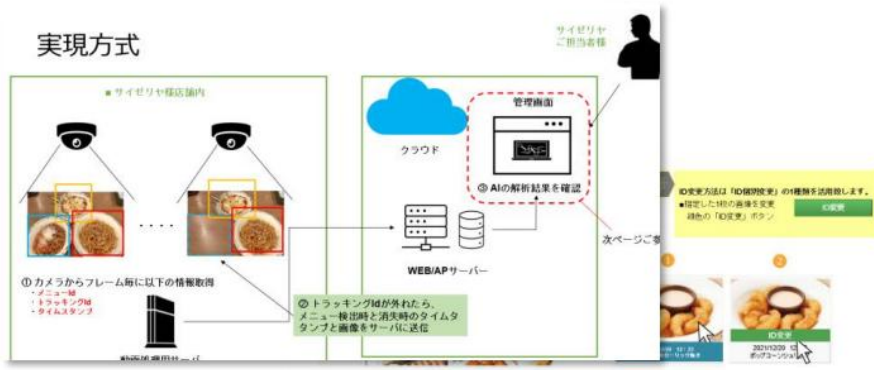
トリプルアイズのエンジニアチームとビジネス推進のチームを組みます。チームはビジネスに最適なテクノロジーを提案、検証プランの策定や検証作業をラボで行います。


 イタリアンワイン&カフェレストラン
サイゼリヤ


AI調理品判定で評価頂き、その後ラボ型開発でDX化を伴走

当初はキッチンで作られた調理品をホール担当が受け取るまでの時間をAI画像判定にてリアルタイム可視化するお手伝いを実施。その後開発力を評価頂き、AIを用いた座席案内の開発、そして直近ではサプライチェーン・マネジメント（SCM）にAIを用いて、原材料の調達から製造、販売までの全工程を最適化する開発を行っている。

実現方式



- 同一商品が別商品として認識されています。
(注：メニュー名のカーソル移動時、ポップアップメニュー)
- IDを修正したい画像の写真部分をクリックすると画像下・ID名記載BOXがブルーに変わります。
● その状態で、統合画面の「ID実装」をクリックします。
この場合「メニュー別のカーソル操作」が実行されている場合は「ポップアップメニュー」へ変更されます。

AIが識別した情報をご確認いただく画面です。

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

編集ボタンをクリックすると登録者編集へ遷移します

現在時刻：19:47:31

TrackID:	カメラ:	メニュー:	提供開始時間:
334	salad	ガーデンサラダ	2024-02-26 19:47:00.635487
336	salad	小工のサラダ	2024-02-26 19:47:02.681463
337	salad	イタリアンプリン	2024-02-26 19:47:11.849784
339	salad	イタリアンジェルト	2024-02-26 19:47:23.062731

- ① 選択画像 対象商品がいつ・どの視点で撮影されたか、経過時間は何分なのか、AIが解析した内容を表示します。
- ② 取得画像一覧 来店日ごとに撮影された画像を確認できます。



座席案内シミュレーションアプリイメージ

座席案内シミュレーションアプリイメージ(PH2以降)



座席案内シミュレーション (イメージ)

- 01 | 会社概要
- 02 | AI開発事例
- 03 | 成長戦略**
- 04 | 2026年8月期第2四半期業績(IFRS)

3つの成長エンジン

AI社会実装に向け、3つの戦略を推進。

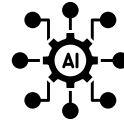
単なるAIベンダーとしてのポジション確立ではなく、「社会課題を技術力で解決するSIパートナー」としてへの役割へシフト。また全社員のAIスキル向上していき AIネイティブな組織へ変革していく。

① 顔認証・生体認証



利便性から
「公正・安全」へ

② AIインテグレーション



「現場実装」の徹底

③ 大学アライアンス



教育DX・
地方創生モデル



AIネイティブな組織への変革

M&A戦略

本人性の厳格化が求められる領域に特化

当社製品は、勤怠・決済（所有認証）の領域においては既に一定程度普及済み。

これからは、スマホ・カードでは解決できない「**本人性の厳格化**」が求められる領域に特化することで、高単価かつ必須性の高い市場を獲得する。



具体的な注力領域

公平性の担保が求められる領域

- エンタメ（チケット）
- リテール（限定品）における不正転売・買占め防止

リスク管理が求められる領域

- Web試験での本人確認
- カスハラ対策
- 徘徊見守りなどのブラック/ホワイトリスト検知

当社の競争優位性

顔認証カスタマイズ実績

- カメラ、クラウド・オンプレ・スマホなど環境依存せず、API/SDKで柔軟に連携することが可能

大量高速処理

- 数万人規模のイベントや商業施設でも遅延なく認証・判定することが可能

製造・印刷現場のDX推進

クラウド完結型のAIベンダーが苦手とする「エッジAI」と「フィジカルAI」を組み合わせることで、実益に直結するソリューションを提供していく。



具体的な注力領域

製造業

- ・ 「自社専用生成AI」でナレッジ継承

印刷業

- ・ 全数検品によるロス削減、製版業務効率化

新技術投資

- ・ 工場自動化に向けたフィジカルAI研究開発

当社の競争優位性

圧倒的な課題解像度

- ・ AI Lab顧客の80%が製造・印刷業。ドメイン知識が深く、「AIPoC」提案ではなくROI（人件費削減・歩留まり改善）を明確化した提案が可能。

日本産業の強みと連動

- ・ 自動車、IP産業（漫画・アニメ）など日本の技術力が強い産業に密着。

③ 大学のアライアンス強化

産官学連携のハブへ

大学の研究シーズをシステム化し、自治体・公共へ展開。
 優秀なAI人材のリクルーティング・エコシステムも確立。



具体的な注力領域

社会実装パイプライン

- 研究を自治体へ。教育委員会等とのパイプを作り、他商材へクロスセル。

採用ルート強化

- 共同研究を通じた学生エンジニアとの接点強化。

離島・僻地の教育モデル

- 北海道大学と連携。AI/GPUで対面以上の教育環境を構築。

当社の競争優位性

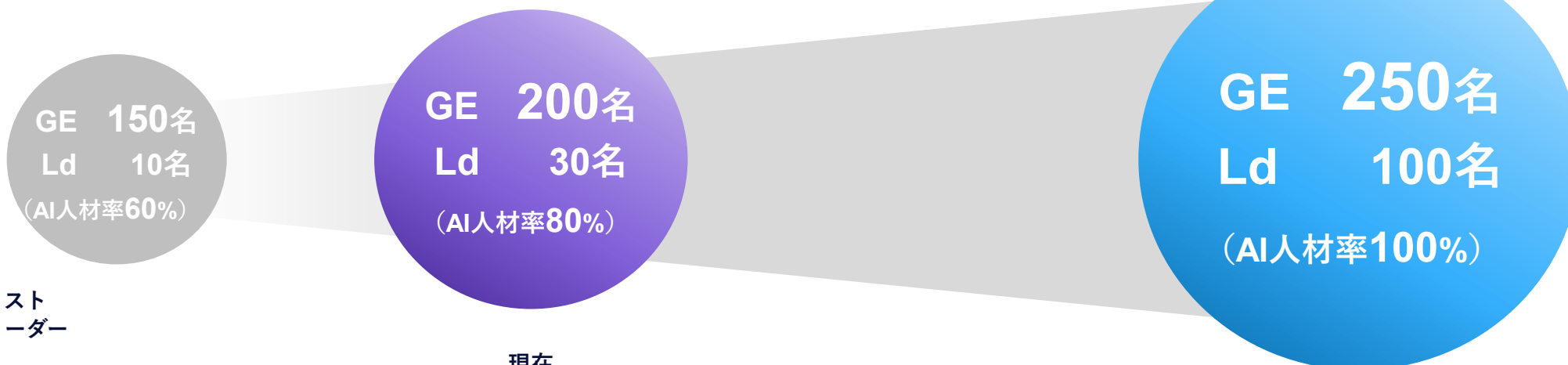
研究開発実装力

- 囲碁AIや顔認証で培った力で、学術理論を即座に「社会実装」できるエンジニア力。

日本産業の強みと連動

- 大学・自治体との技術顧問契約による知見の収益化モデル。

現在 社内のAT20の合格者が 150名を突破し 社内全体のAIリテラシーUpを推進中。
 今後のIT開発をリードしていくAI駆動開発リーダーを2028年までに100名育成していく



組織レベル

2025年8月期

AI試行段階

- 組織内でAIの利用が一部始まっているが、利用ツール目的がバラバラで、業務への影響は限定的
- AI活用が「個人」から「チーム」への取り組みへと進化中

現在

2026年8月期

業務へのAI統合

- 業務プロセスにAIが組み込まれ、日常的に活用される
- 業務効率化や品質向上など、具体的な成果が出始める
- AI活用が「業務改善の手段」として定着

2027年8月期

AI前提の業務設計

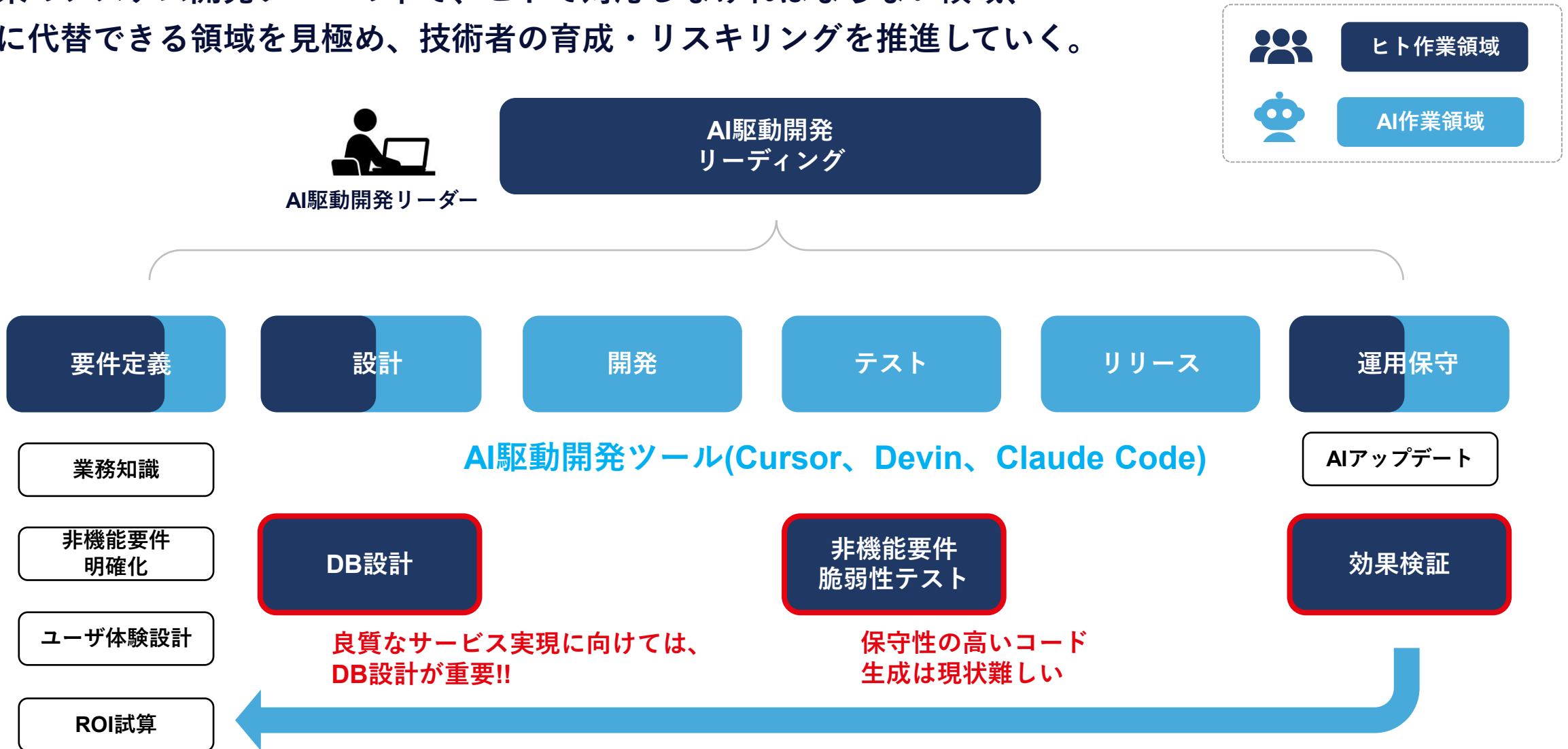
- 業務やプロダクトが「AIを前提」に設計されている
- KPIや評価指標もAI活用を前提に定義されている
- AIが業務の中心に位置づけられ、組織の競争力に直結

2028年8月期

AIによる戦略的改革

- AIを軸にした事業変革や新規事業が推進されている
- 組織文化としてAI活用が根付き、**全社員がAIリテラシーを持つ**
- 「AIだからこそ可能な戦略」が実行されている状態

従来のシステム開発フローの中で、ヒトで対応しなければならない領域、AIに代替できる領域を見極め、技術者の育成・リスキリングを推進していく。



AI時代を切り拓く

私たちトリプルアイズは『AIと共に、ビジネスを変革していきます』。
テクノロジーだけでなく、組織文化としてのAI活用を推進していきます。

社員全員が、AIネイティブな組織へ。

新たな価値創造・事業成長・社会実装へ向けた挑戦を、これからも全力で推進していきます。
生成AIは単なるツールではなく、私たちのビジネスと社会を変革する原動力です。
この時代の波に乗り、未来を共に創造していきます。

具体的に取り組むこと



人材育成

AI人材の育成と組織全体のスキルアップ



技術革新

最先端AI技術の積極的な導入と開発



社会貢献

AIを通じた社会課題の解決への貢献

01

適切なバリュエーション
でのM&A

- ターゲットは**EBITDA倍率4倍～5倍**前後

02

AIソリューション事業を
基盤としたシナジー

- AIサービス、AI開発、ITコンサルも含めたAI周辺事業領域のM&A
- **独自開発AIの共有によるシナジー創出**及びこれによる**対象企業のバリューアップ**

03

自由度の高い資本政策

- グループインした役員を中心に**有償SOを付与**するなどインセンティブを過去実施

04

当社グループへの資本参画
によるベクトル合わせ

- M&Aと同時に**ファウンダーに当社グループの第三者割当増資を実施**、当社グループ価値向上を当社とともに目指す

- 01 | 会社概要
- 02 | AI開発事例
- 03 | 成長戦略
- 04 | 2026年8月期第2四半期業績(IFRS)

AI社会実装へ3つのストーリー

当社では2026年8月期第1四半期から第2四半期にかけて、成長戦略に沿った新たな事業展開・サービスに関するIRを開示しています。これらのIRは、AIを社会の隅々まで行き渡らせるための**3つのストーリー（デバイス・産業・人材というハードルを乗り越える）**に一貫しており、『AI社会実装プラットフォーム・AIZE』を基盤とした非連続な成長への布石として、着実に進捗しております。

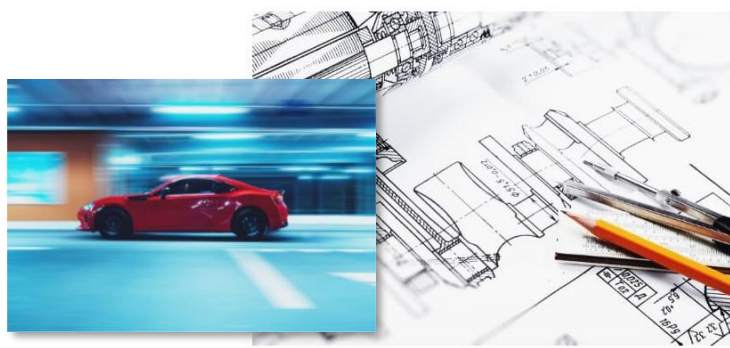


誰でもAIにアクセスできる (デバイスのハードルを乗り越える)

AIZEがあらゆるOS・マルチデバイスで動作する汎用的なAIインフラへ。導入ハードルを極限まで下げ、ネットワーク外部性を創出。

IRリリース

- ・2025/11/05 「勤次郎」との連携開始
- ・2026/01/15 LIMNO社（国産タブレットトップ）との協力
- ・2026/01/19 AIZE累計15万IDを突破
- ・2026/01/29 サイオステクノロジーとの多要素認証協業
- ・2026/03/13 AIZE、全OS・マルチデバイス対応



どこでもAIを導入できる (産業のハードルを乗り越える)

自動車・製造業 DXでの実利創出、米国データセンターでの計算リソース確保により、ハードとエネルギーまで握る強固なエコシステムを構築。

IRリリース

- ・2025/10/22 ブラザー工業様が取り組むAI活用の新しい学習プロセス
- ・2026/01/21 米国アーカンソー州DC本格稼働
- ・2026/03/05 BEX社と自動車設計自動化システム共同開発



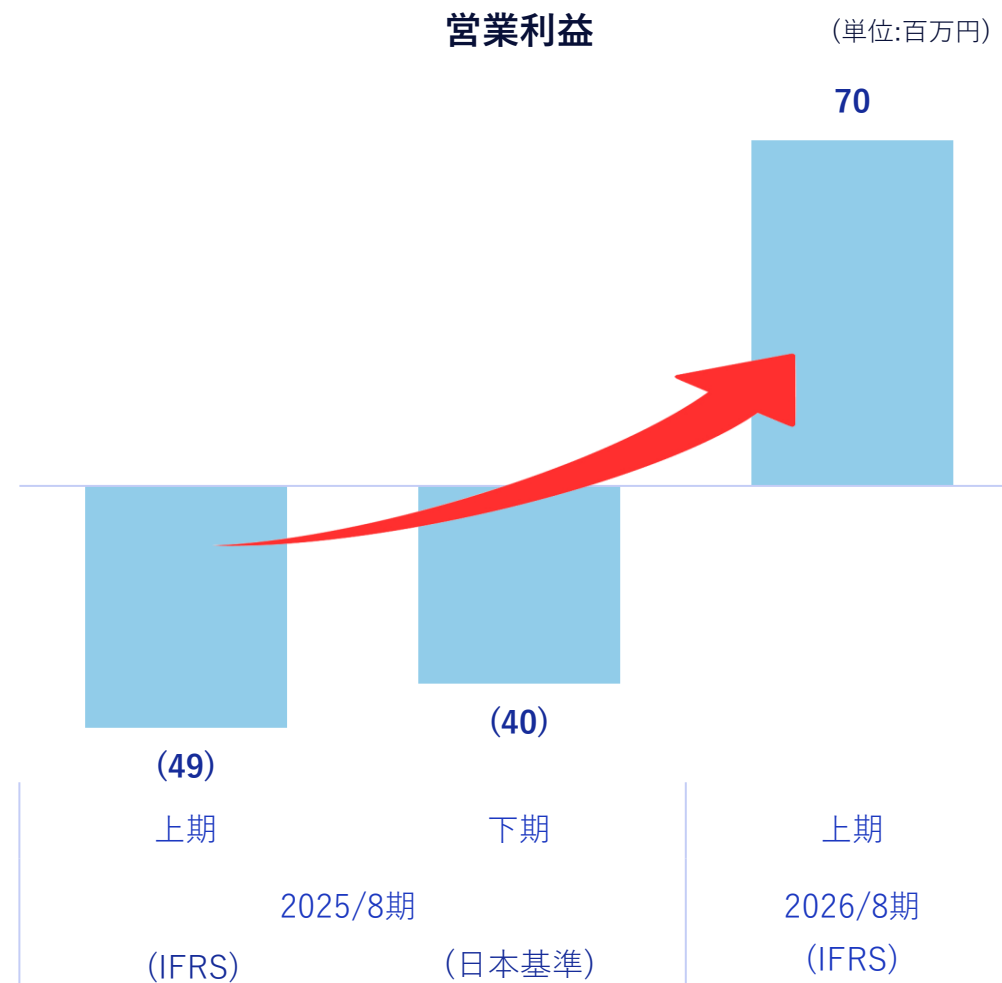
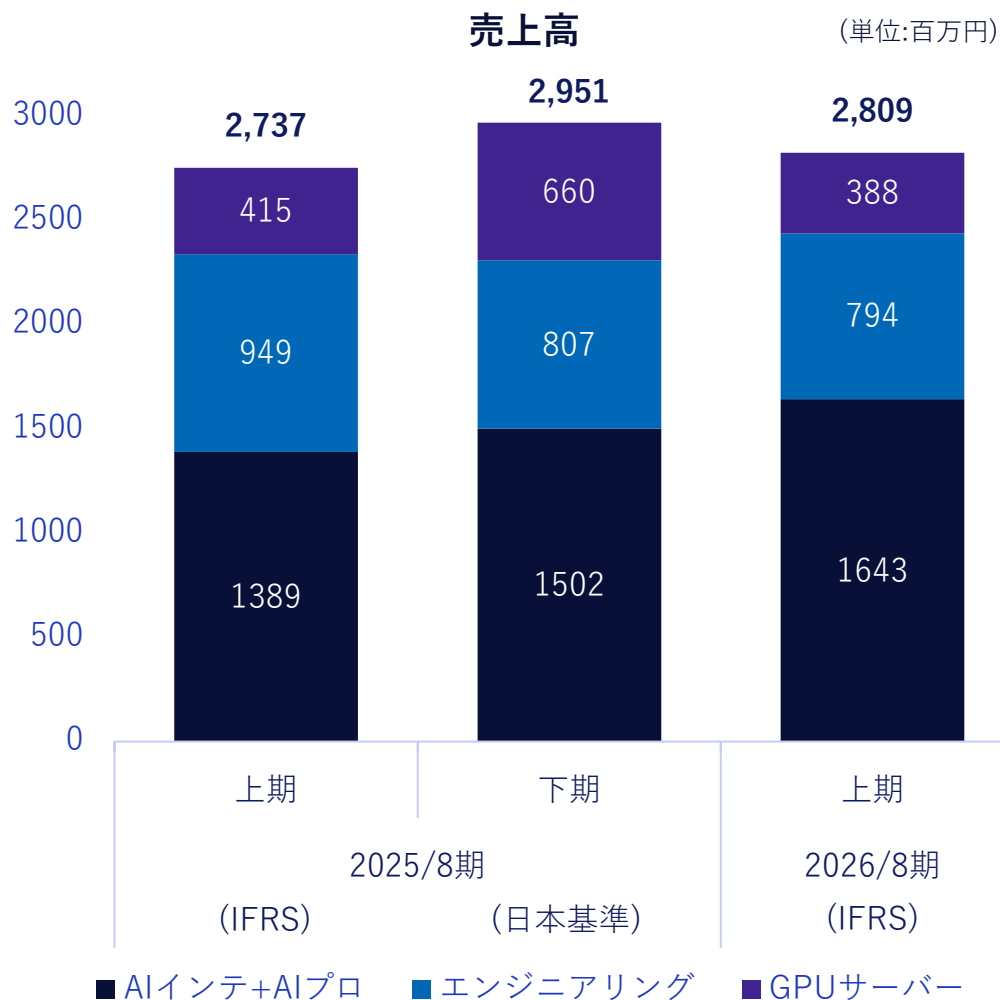
AIを使いこなせる人をつくる (人材のハードルを乗り越える)

AIを「使いこなす人」を自ら育てる垂直統合モデルである次世代人材育成プラットフォーム「AT20」を展開し、持続的な拡大フェーズへと移行。

IRリリース

- ・2026/01/15 千葉大学らと「STEAM・探究グランプリ」受賞
- ・2026/01/23 AI人材育成「AT20」新カリキュラム追加
- ・2026/03/25 次世代人材育成プラットフォーム「AT20」ローンチ

営業利益は前期比大幅改善。AIソリューション事業として半期過去最高売上・半期最高営業利益を更新。「AIインテグレーション+AIプロダクト」の当四半期売上高は前年同四半期比約1.2倍と継続的に増加。GPUサーバー事業の粗利額及び粗利率増。



※ 「AIインテグレーション+AIプロダクト」「エンジニアリング」「GPUサーバー」の売上高合計と連結売上高との差異は連結消去によるものであります

売上収益

2,809百万円

(前期比：102.7%)

営業利益

70百万円

(前期実績：△49百万円)

当期純利益

36百万円

(前期実績：△53百万円)

連結業績

- 売上高は微増、営業利益は大幅改善。AIソリューション事業が引き続き好調。AIソリューション事業として上半期累計売上・営業利益が堅調に推移し、半期最高売上及び営業利益を更新
- 四半期ごとの利益の平準化のため、主に2Qに業績賞与引当を行い42Mを計上

AI
ソリューション

- 半期過去最高売上2,427百万円、半期過去最高営業利益122百万円で着地
- 「AIインテグレーション」における生成AI関連の開発需要増に伴うAIラボ契約AI開発契約拡大、プライム案件の受注拡大などが売上及び利益拡大に寄与
- 「エンジニアリング」においては、組織風土改善活動に取り組み、前期の人数減が収束、案件増により請負工数が増加、1Qから引き続き2Qも順調に業績が進捗

GPUサーバー

- 3月末決算企業へのAI開発用途向けGPUサーバーの販売が進捗し、売上総利益が前期比111.5%(粗利率前期2Q47.4%→当期2Q56.5%)で着地
- 暗号資産マイニング収入は市場価格の悪化を受けて低迷
- 2月末の暗号資産相場の影響を受けて、暗号資産に関する減損損失を23百万円計上

売上高及び売上総利益の計画進捗率は、ほぼ予定通り。AIソリューション事業の利益改善が想定以上に好調であり、四半期ごとの業績平準化のため2Qに業績賞与引当を行い、連結で42百万円の費用計上を行っている。当該費用計上後の計画進捗率は**営業利益85.8%、当期利益98.3%と好調を維持**。また、連結グループで4月に新卒が39名入社し、下期の利益水準は上期を下回る予定であり、GPUサーバー事業のボラティリティを考慮し、当2Q末での業績予想修正は行わない。

(単位：百万円)	2025年8月期 2Q実績	2026年8月期 2Q実績	前期比	2026年8月期 通期計画	計画進捗率
売上高	2,737	2,809	102.7%	5,837	48.1%
売上総利益	893	889	99.6%	1,894	46.9%
営業利益・損失(△)	△49	70	—	81	85.8%
当期利益・損失(△)	△53	36	—	36	98.3%

※2025年8月期2Qの数値はIFRS組み替え後の数値を記載しております。

事業別前年同期比較

AIソリューション事業のうちAIインテグレーション+AIプロダクトは、事業好調継続により売上前期比118.3%、エンジニアリングは人員減のため前期比83.6%。営業利益については前期比116.9%で着地し、**半期の集計では過去最高の売上高及び営業利益で着地**。GPUサーバー事業については、3月末決算会社の営業活動が進捗し、売上総利益は前年同期比で111.5%(粗利率前期2Q47.4%→当期2Q56.5%)となったものの、2月末の暗号資産相場の下落の影響により暗号資産に関する減損損失23Mを計上。

	AIソリューション事業			GPUサーバー事業		
	2025年8月期 2Q実績 (IFRS)	2026年8月期 2Q実績 (IFRS)	前年同期比	2025年8月期 2Q実績 (IFRS)	2026年8月期 2Q実績 (IFRS)	前年同期比
(単位：百万円)						
売上高	2,328	2,427 半期 過去最高	104.3%			
AIインテグレーション +AIプロダクト	1,389	1,643	118.3%	415	388	93.5%
エンジニアリング	949	794	83.6%			
売上総利益	702	675	96.2%	196	219	111.5%
営業利益	104	122 半期 過去最高	116.9%	△154	△52	—

※ 2025年8月期2Qの数値はIFRS組み替え後の数値を記載しております

※ AIソリューション事業におけるサブセグメントの売上高合計とAIソリューション事業全体の売上高との差異は連結消去によるものであります

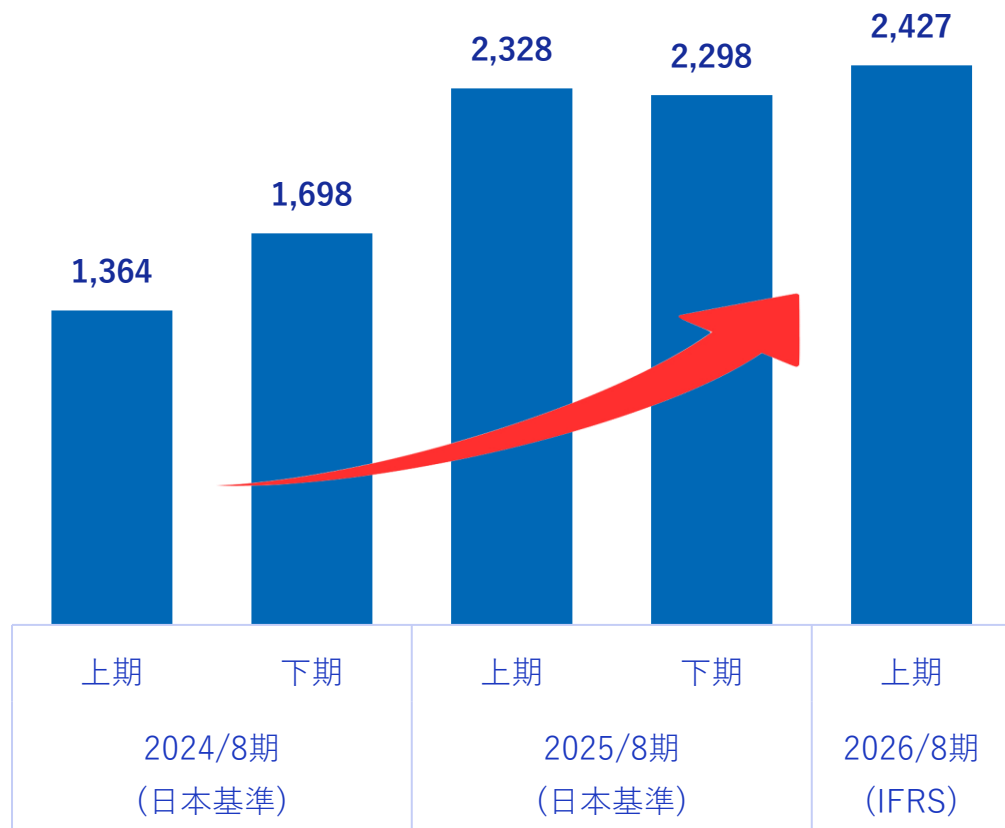
※ 2025年8月期2QGPUサーバー事業におけるIFRS営業損失154百万円について、同期間の日本基準営業損失108百万円より46百万円悪化しておりますが、主な要因としては顧客関連資産(無形資産)の償却年数の見直しに伴う償却費122百万円の増加、のれん非償却によるのれん償却費45百万円の減少及び棚卸資産評価損の戻入33百万円であります

AIソリューション事業は2Q累計売上高2,427百万円、営業利益122百万円で好調を維持

AIソリューション事業においては、AIインテグレーションサブセグメントにおけるAI案件の好調な受注や徹底した案件管理、エンジニアリングサブセグメントにおける人員減の収束と稼働率上昇を背景とした利益の増加により、**第2四半期累計は売上2,427百万円及び営業利益122百万円で半期の集計では過去最高業績で着地。**主に2Qに業績賞与引当42百万円を計上。

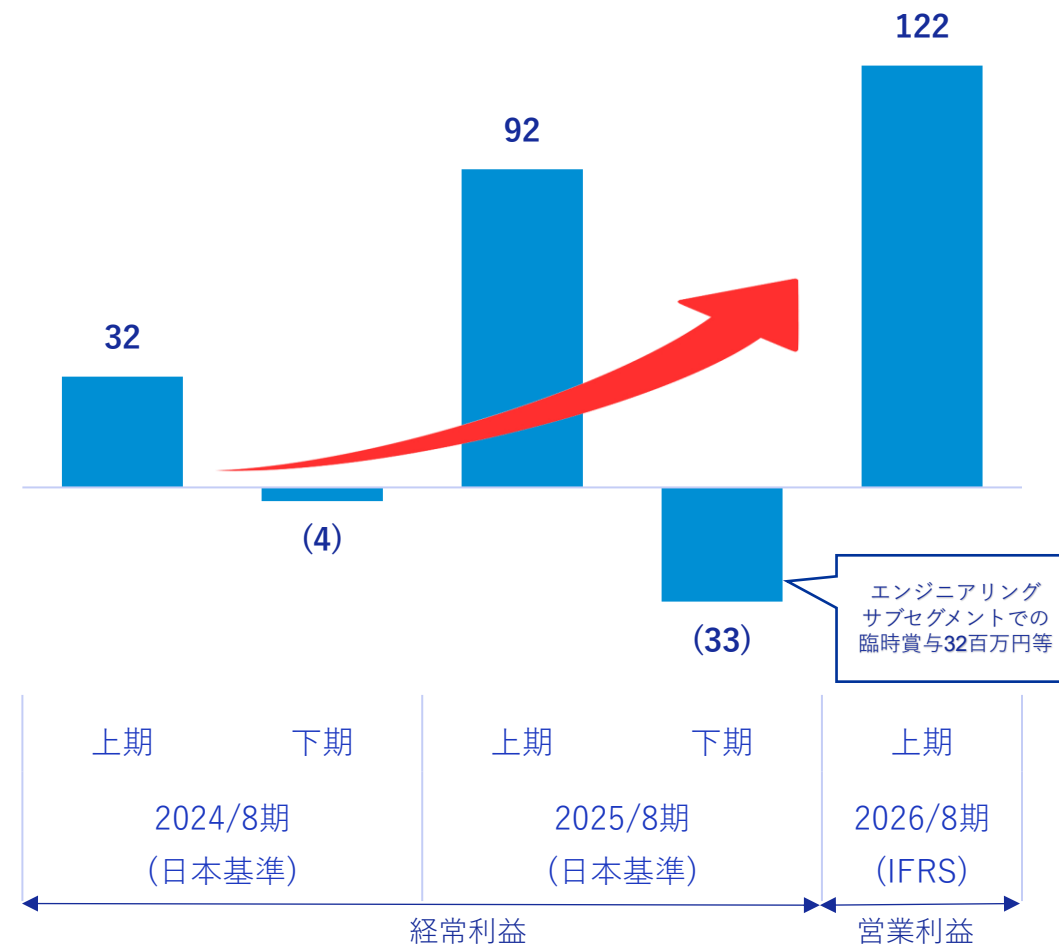
売上高

(単位:百万円)



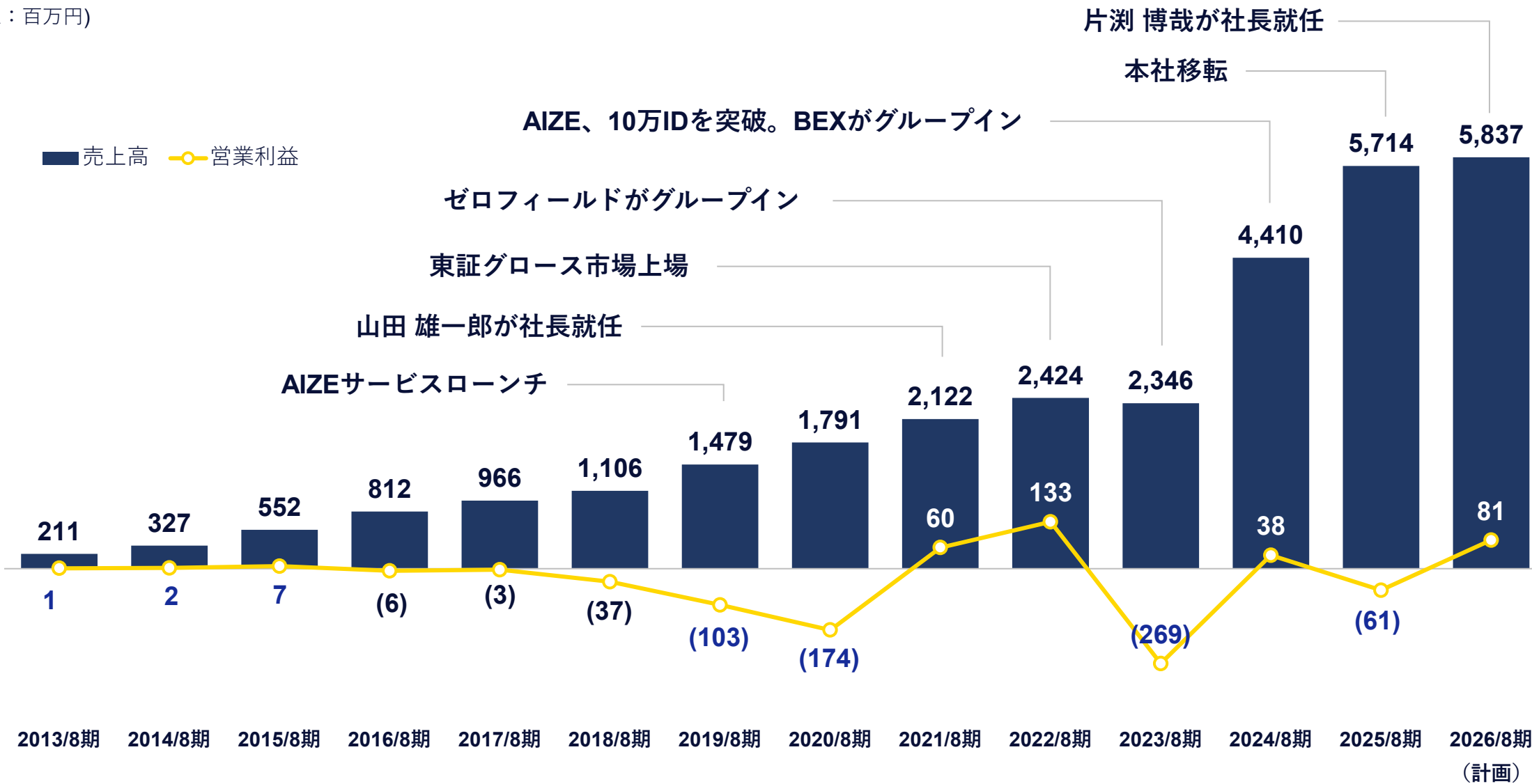
経常利益/営業利益

(単位:百万円)



売上高及び営業利益推移

(単位：百万円)



VISION

トリプルアイズの経営理念

テクノロジーに想像力を載せる



Realize Customize Maximize
TRIPLEIZE

免責事項

- 本資料は、当社の計画、見通し及び戦略に関して、適切な理解を促進することを目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。投資に際しては、投資家様ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。
- 本資料に記載された全ての数値、指標等が監査法人による監査又はレビューの対象ではない点にご留意ください。